

< 電子資料 利用時の注意 >

電子資料を利用する際、Web ブラウザの「先読み機能」や文献管理ツールの設定により、バックグラウンドで自動アクセスが行われることにより、利用者本人が気付かないうちに、大量ダウンロードと見なされるようなアクセスが行われます。
意図しない場合でも、大量のダウンロードは不正利用とみなされ利用停止となることもあります。

「先読み機能」を無効、文献管理ツールの設定に注意して電子資料をご利用いただきますようご協力をお願いいたします。

① Web ブラウザの「先読み機能」の無効方法

Microsoft Edge

「設定」→「Cookie とサイトのアクセス許可」→「Cookie とサイトデータの管理と削除」→「ページをプリロードして閲覧と検索を高速化する」をオフにする

Google Chrome

「設定」→「プライバシーとセキュリティ」→「Cookie と他のサイトデータ」項目を選択し、「ページをプリロードして、閲覧と検索をすばやく行えるようにします」をオフにする

Safari

(Mac) メニューバーの「Safari」→「環境設定」を開く

「検索」タブの「バックグラウンドでトップヒットを事前に読み込む」のチェックをはずす

(ios) 「設定」→「Safari」→ 検索「トップヒットを事前に読み込む」をオフにする

FireFox

アドレスバーに「about:config」と入力して Enter キーを押すと、警告ページが表示されますが、「危険性を承知の上で使用する」をクリックして開く

「about:config」→「network.dns.disablePrefetch」を「true」、「network.prefetch-next」を「false」に設定する

② 文献管理ツールの設定

EndNote

EndNote の上部メニューから「Edit → Preferences」を開く

左のメニューで「Find Full Text」を選択 → 一番下の「Automatically invoke FindFull Text on newly-imported references」のチェックを外す

Mendeley

Mendeley Web Importer にて Web Importer のアイコンをクリック

どの書誌情報を取り込むか選択する画面 → 右下の「・・・」をクリック → 設定画面 →

「可能であれば PDF を追加」のチェックを外す

外した後、Web Importer のアイコンをクリックすると、どの書誌情報を取り込むか選択する画面が表示されるので必要な文献を選択して利用する